

機器仕様

【検査対象】

道路・空港・港湾・鉄道

【標準機器構成】

計測ユニット2台 / コントロールPC1台 /
GPS / 車速センサ / 解析用PC1台

【ソフトウェア基本機能】

蛇行補正 / 輝度・高さ画像の2D/3D表示 / 左右データ合成 / KP・GPS情報リンク / メッシュ作成 /
わだち掘れ量算出 / ひび割れの自動抽出 / クラック率算出 / 欠陥編集・作図 / 画像・損傷レポート出力

【3Dカメラ】

計測速度：～100km/h

サンプリングレート：2,000～10,000 profiles/s

横方向解像度：1mm

高さ解像度：0.5mm

進行方向撮像間隔：1mm～4mm



オプション

沿道撮影カメラ（前方・左右）

GPSとリンクした沿道撮影カメラを最大3台設置することが可能



カメラ設置例



沿道撮影画像例

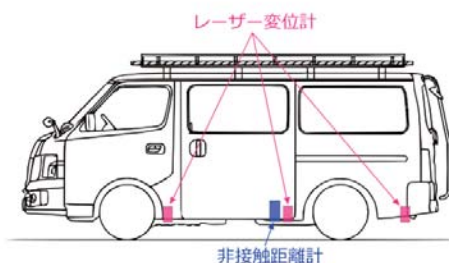


オプション

平坦性 IRI 計測ユニット

100 km/h の走行速度で、10 mmピッチの路面プロファイルを測定することが可能

本システムで得られた路面形状と従来の計測との整合性は、JHS248-2005に規定されている精度（3mプロファイルメーターによる路面形状に対して±30%以内）を満足しています。



応用例

赤外線サーモグラフィカメラ

赤外線カメラとの組み合わせで、滑走路などのプリスタリングや床版コンクリートの浮きなどの調査に応用できます。

地中探査レーダー

地中探査レーダーとの組み合わせで、道路や鉄道などの空洞調査で用いることができます。

MMS （モバイルマッピングシステム）

MMSとの組み合わせで、三次元空間情報とひび割れなどの路面の詳細情報が一元管理できます。

路面検査コンパクトユニット

PG-4



路面検査コンパクトユニット PG-4

コンパクト、なのに、きれい。

交通インフラの寿命は、**約50年～60年**。
 高度経済成長期に整備された
 道路・橋梁・鉄道は、今まさに転換期を迎えている。
 クラボウは、10年以上にわたり
 路面性状調査システムの開発に携わってきた。
 豊富な実績とたしかかな技術で、
効率的な調査を実現する。



01
速くて、きれい

速度 100km/h で走行しながら
高精細な画像を取得可能
車線規制も必要なし

03
昼でも、夜でも

赤外線レーザーを採用
時間帯を問わない調査が可能

05
使用料ゼロ

年間使用料・定額保守費は
不要

02
一般車両に搭載可能

軽量・コンパクトな設計で
取り付けカンタン

04
お手入れカンタン

ユニット開閉や基準設定など
ユーザーサイドで操作可能

■車両搭載事例

さまざまな車両への取り付けができ、線路検査にも応用されています。



ワークフロー — 3ステップで完了 —

01 調査する

ワンクリックで撮像・記録が可能

撮像から記録まで 1 台の PC で完結、
リアルタイムで取得データの確認が可能です。
高さ変換も同時処理が行えます。



取得データ

- ・GPS ・路面画像 (輝度 / 高さ)
- ・速度 ・沿道撮影カメラ

02 解析する

明確な作業フローで、だれでも簡単

ひび割れ・わだちの抽出からレポート作成までをより簡単にわかりやすく作業できます。
 高さ情報を使って、ひび割れ・わだちを自動抽出・計算するため、高い再現性で定量的に評価できます。

地図表示

GPS 情報より表示位置を
地図上にマッピング

可視画像

高さ画像

ひび割れ自動抽出

高さ情報より
ひび割れを自動抽出

路面3D表示

可視画像と高さ情報から 3D 化

わだち掘れ抽出

任意位置の横断形状からわだち掘れ抽出

ひび割れの面状/線状判定

メッシュごとに
ひび割れを面 / 線で欠陥判定

03 報告する

様々なレポート形式が選択可能

総点検実施要領 A・B のみでなく、画像付きレポートやその他目的に合わせた
レポートを作成できます。CSV/DXF/SIMA/bmp/jpg の出力に対応。

総点検実施要領 A

総点検実施要領 B

画像付きレポートの判定結果